



ニュースリリース
本件のお問い合わせ先
株式会社ベントレー・システムズ
マーケティングマネージャ
大山 早苗
sanae.oyama@bentley.com
Tel.03-5992-7747(直), Tel.03-5992-7770(代)
Twitter でフォロー
[@BentleyJapan](https://twitter.com/BentleyJapan)

Bentley ProjectWise CONNECT Edition: MicroStation CONNECT Edition および Navigator CONNECT Edition に続き一般公開

CONNECT Edition を早期導入したユーザーがそのメリットを報告

ロンドン – *Year in Infrastructure 2015* カンファレンス – 2015 年 11 月 2 日 – インフラストラクチャ強化のためのソフトウェアソリューションを提供する世界的リーダー企業 Bentley Systems, Incorporated は本日、ロンドンで開催された *Year in Infrastructure 2015* に出席したユーザーが、自らの経験を熱心に伝え、新世代の [CONNECT Edition](#) ソフトウェアを推奨したことを報告しました。*CONNECT Edition* は包括的なプロジェクトデリバリのための共通環境を提供するものです。現時点で *ProjectWise CONNECT Edition*、*MicroStation CONNECT Edition*、*Navigator CONNECT Edition* がすべて一般公開されたことになり、ユーザーは先進技術を最大限に活用できるようになります。

ProjectWise CONNECT Edition

「作業共有の中核」である *ProjectWise CONNECT Edition* は、設計統合から包括的なプロジェクトデリバリのコラボレーションまでの作業を促進し、さらにデリバブル管理、問題解決、およびエンジニアリングコンテンツ管理のためのハイブリッドクラウドサービスを提供します。

早期導入ユーザーの声

- 「Hatch Mott MacDonald が初めて [ProjectWise](#) を導入したのは、設計に関するコラボレーションと設計ドキュメントのワークシェアリングを安全に行うためでした。しかし、今日の進化を続けるプロジェクトデリバリ環境においては、モデルやそれに関連するプロジェクト情報を簡単かつ安全に共有し、サプライチェーン全体でコミュニケーションを促進して設計の明確性を高めることが、かつてないほど重要になっています。*ProjectWise CONNECT Edition* が導入されたことで、さらに包括的なプロジェクトデリバリプラットフォームを利用できるようになりました。計画、設計、建設、そして運用に至るまでのデータの品質に焦点を当てながら、パートナーや遠隔地のチームメンバーを、プロジェクト情報やプロセスに仮想的につなぐことが可能になります」 – **Hatch Mott MacDonald**、プロジェクトテクノロジー担当ディレクタ、PE.、**Cory Dippold** 氏
- 「初めての設計建設プロジェクトである EMIA の Long Street に着手した際は、コラボレーションの改善が不可欠な状況でした。長年にわたって *ProjectWise* を使用しているので、チームの生産性や設計品質の大幅な向上はすでに確認済みです。*ProjectWise CONNECT Edition* が導入されたことで、プロジェクトライフサイクル全体を支える、使いやすく安全なクラウドベースの環境を手に入れることができます。この強力な機能により、特にサプライチェーンとの間の、重要なプロジェクト情報のドキュメント作成ワークフローが簡素化されます。また、提出書類、伝達書類、RFI を管理するための優れたエンドユーザーインターフェースが提供され、ワークフローの標準化がサポートされるので、この AECOM 標準を将来の設計に利用し、最小限の労力でプロジェクトを完成させることができるようになります。*CONNECT Edition* では、単一のシンプルなダッシュボードで、経営幹部チームがプロジェクトステータスをリアルタイムに把握することができます。Long Street プロジェクトでは、設計建設プロセスを改革し、標準化することが求められましたが、これは自社の基準を利用しながら AECOM だけが実現できることでした。Bentley と密接に連携すること

で、プロジェクトのコミュニケーションと可視性が劇的に向上するだけでなく、AECOM ならではのものを市場に提供できることでしょう」 – **AECOM Information Technology**、IT ビジネスリレーションシップマネジメント担当ディレクタ、**Nuzrul Haque** 氏

- 「当社は信頼性の向上に取り組んでおり、現場データを毎日キャプチャしています。現在のプロセスでは、紛失する可能性のある測量ノートと、持ち運びに不便で現場で壊れやすいラップトップを使用しています。今後はこのデータを、すばやく簡単にアクセスできる形式で、モバイルデバイスから入力できるようになるでしょう」 – **Burns & McDonnell**、シニアアプリケーションズスペシャリスト、**David Haskin** 氏
- 「Arup は当社の BIM コラボレーション機能を拡張し、次のレベルに発展させるべく、*ProjectWise CONNECT Edition* を待ち望んでいます。伝達書類と RFI を管理するクラウドサービスを介して社外のプロジェクトチームメンバーとコミュニケーションをとることで、生産性が向上し、ミスを最低限に抑え、プロジェクトのリスクを低減させることができます。ダッシュボードでは、BIM プロジェクトの豊富な属性データを活用することで、プロジェクトのパフォーマンスを監視できます」 – **ARUP**、アソシエイトディレクタ、**Will Sims** 氏

MicroStation CONNECT Edition

MicroStation CONNECT Edition により、Bentley の共通モデリング環境が発展を遂げ、設計モデリング、解析モデリング、建設モデリング、リアリティモデリングの統合サポートが提供されます。

早期導入ユーザーの声

- オブジェクトのすべての置換や組み合わせのデジタルコンポーネントカタログを管理することは、非常に困難な作業です。これらのオブジェクトを動的かつ再利用可能にすることで、作業開始時のセットアップや手戻りの時間を常に

短縮することができます。(中略)現状から既存の状態をモデリングするために費やす時間が、新しいリアリティキャプチャテクニクを採用することで短縮されます。この動的なテクノロジーを採用することは、当社のワークフローにとって非常に重要であることがわかりました」 – **Hatch Mott MacDonald**、シニアスペシャリスト、**Paul Patterson** 氏

- 「オブジェクトのインテリジェンスに基づいてすぐにレポートとスケジュールを自動生成する *MicroStation CONNECT Edition* の機能により、一貫性のある信頼性の高い図面を提供することができます。プロパティに基づいて注釈が作成されるので、設計変更のプロセスも合理化されます。変更が生じたときにはデリバラブルが最新の状態に更新されるからです。さらに、プロジェクトの標準に基づいて、色や線の太さなどのテーブルの外観も細かく制御することができます。これらすべての機能により、短期間で優れたデリバラブルを提供することが可能になります」 – **Burns & McDonnell**、シニアアプリケーションスペシャリスト、**Marty Price** 氏
- 「この新しい *MicroStation* は、良い方向へと大きく前進しました。新しいインターフェースは非常に分かりやすく、カスタマイズも容易です」 – **Andrews, Hammock & Powell, Inc.**、**Marc Schroeder** 氏

Navigator CONNECT Edition

Navigator CONNECT Edition アプリケーションにより、オフィスだけでなく、建設現場や外出先にいるユーザーにも共通かつ連携したエクスペリエンスが提供されます。主要な新機能は、モデルベースの視覚的レポート作成と、*ProjectWise* の追加による問題解決です。

早期導入ユーザーの声

- 当社は *Navigator CONNECT Edition* をオフィスに導入し、次のプロジェクトに備えました。この製品の全体的な使用感は、これまでに使用した他のシステムや、委託したプランナーよりも優れていました。デリバラブルのスケジュールを管理し、完成させるにあたり、3D モデリングを検討し、今後の段階を定義できる機能は便利でした。また、リモートで同じプロジェクトの作業を行っている同僚と、リアルタイムのプロジェクトデータを共有できる機能は非常に役立ちました」 – **Melloy Industrial Services, Inc.**、建設現場監督、**Doug Harper** 氏

- 「*Navigator CONNECT Edition* を利用することで、IBI Group 社内であっても、大規模なチームの一部であっても、ローカルオフィスやタブレットを使用する現場のスタッフが、ジオメトリやデータを一貫した手段で利用できます。当社の大規模プロジェクトの一部では、この機能を利用して、[InRoads](#)、Revit、[MicroStation](#) などのさまざまなツールから取得した情報を 1 つの統合型プラットフォームに集約しています。特定のアセットのビジネス情報を i-model 形式に変換することで、[ProjectWise](#) や [ProjectWise WorkSite](#) からアクセスした際に一貫性のあるコンテンツの問い合わせが実現されるようになるので、データの来歴情報は重要です。また、この製品のナビゲーションエンジンはスムーズなため、高層ビルだけでなく、用地、鉄道、公共事業などの線形のインフラストラクチャも簡単に移動することができます。*Navigator CONNECT Edition* 全体で、主要なインフラストラクチャプロジェクトを通して、利害関係者を結び付けることが期待できます」 – **IBI Group**、アーキテクト、設計技術担当グローバルディレクタ、**Brent Mauti** 氏

詳細情報:

- [CONNECT Edition](#)
- [Year in Infrastructure 2015](#) カンファレンス

Bentley Systems について

Bentley Systems は、建築家、エンジニア、地理空間のプロフェッショナル、建設業者、オーナーオペレーターにインフラストラクチャの設計、建設、運用を推進するための包括的なソフトウェアソリューションを提供する世界的リーダー企業です。Bentley のユーザーは、各分野にまたがり、インフラストラクチャのライフサイクル全体に対応するインフォメーションモビリティを活用し、パフォーマンスに優れたプロジェクトとアセットを実現できます。Bentley のソリューションには、インフラの設計・モデリングを行う *MicroStation* プラットフォーム、インフラプロジェクトチームの協業と作業共有のための *ProjectWise* プラットフォーム、インフラ資産運用のための *AssetWise* プラットフォームを包含し、すべてが広範なポートフォリオの互換性アプリケーションに対応し、世界規模のプロフェッショナルサービスで補われています。

Bentley は 1984 年に設立され、50 カ国以上に 3,000 人近くの従業員を擁し、年間売上高は 6 億ドルにのびります。また、2008 年以来 10 億ドル以上を投資して研究、開発および企業買収を推進しています。

Bentley に関するその他の情報については、www.bentley.com と [Bentley のアニュアルレポート](#) をご覧ください。Bentley のニュースをいち早くご覧になるには、Bentley のプレスリリースおよびニュースアラートの [RSS フィード](#) をご購入ください。 [Year in Infrastructure 2015 カンファレンス](#) の Web サイトで、Bentley の一流のオピニオンリーダーシップイベントの見どころをご覧ください。カンファレンスは 2015 年 11 月 3 日～5 日に英国ロンドンで開催されます。毎年開催される *Be Inspired Awards* の革新的なインフラストラクチャプロジェクトのコレクションは、検索可能な Bentley の『[Infrastructure Yearbooks](#)』をご覧ください。インフラストラクチャ業界の関係者が出会い、情報交換し、学び合える専門家ネットワーキングサイトをご利用になるには、[Bentley Communities](#) にアクセスしてください。

『*Bentley Infrastructure 500*』はインフラストラクチャの累積投資額に基づいて公共部門と民間部門のインフラストラクチャトップオーナーのランキングを掲載した独自の世界的リストです。[こちら](#) からダウンロードできます。

###

Bentley、Bentley の"B"のロゴ、Be、MicroStation、InRoads、CONNECT Edition、ProjectWise は、Bentley Systems, Incorporated、またはその直接または間接の完全所有子会社のいずれかの登録商標、未登録商標、または商標です。その他すべてのブランドおよび製品名は、それぞれの所有者の商標です。